
「大切なもの」

フェイクファー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「大切なもの」

【Nコード】

N5148BA

【作者名】

フェイクファー

【あらすじ】

麟龍鳳さんの企画「smile」の投稿作品です。物語ふつの長詩にしてみました。絆がテーマです。

(前書き)

犬の僕と飼い主との君のお話です。(二番では飼い主視点になっています) 建物は壊れてしまっけど、絆は壊れないでしょう。

「大切なもの」

ある晴れた日の午後です 優しい君は僕にごはんを
ととてももしわくちなな笑顔で つくってくれました
君は僕をなでて 「大好きだよ」と言いました
まだ寒い三月の日の これは僕の宝物です

あれが最後だなんて思いたくないけど
風が吹きました

見えないところでつくられた悪魔
波に乗ってやってきた
「大切なもの」、大好きな人の笑顔を
想い浮かべて走りました

ある晴れた日の午後です かわいい君は僕のこと
とてもとても澄んだ目つきで ただまっすぐに見つめました
君は僕の側で どんなに苦しいときも
ただ無言で 座り込んで 僕を見守ってくれました

あれが最後だなんて思いたくないけど
風が吹きました

見えないところでつくられた悪魔
波に乗ってやってきた
「大切なもの」、楽しかった思い出……
波にのまれていきました

めちやくちやに崩された大好きな街を歩きます

「死にたい」、そう思っても 君との「大切なもの」探し続けました

やがて生きていた君と 僕は道で出会います

手には古びた首輪が一本 僕を連れに戻ろうとしたのかい
涙ぬぐって

僕が見つけた二人の思い出、渡しました

ひとつ 今にも 壊れそうな

二人の写真を渡しました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5148ba/>

「大切なもの」

2012年1月14日09時48分発行